

ドライブレコーダー
FT-DR ZERO III

取扱説明書



このたびは **FT-DR ZERO III** をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本機は DC12V/24V 車（マイナスアース）専用です

目次

必ずお読みください 1
安全についてのお願い・ご注意 2
本機の特長 4

準備する

同梱品を確かめる 5
各部の名称 6
電源を入れて日時を合わせる 7
メディアを準備する 8
車へ取り付ける 9

撮る

動画を撮影する 11

見る

本機で撮影した映像・画像を見る 11

便利な機能を使う

各種設定を変更する 13

本機の記録方法

本機の記録方法 17

各種アクセサリと接続する

BP-1/BP-2 と接続する 18

故障かな？と思ったら

仕様 21

必ずお読みください

※記録用 microSD/SDHC カードご使用上の注意

microSD/SDHC カードの種類によっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。推奨 microSD/SDHC カード：4GB～32GB の Class 4 以上
microSD/SDHC カード非常に薄いため取り扱いには十分ご注意ください。

※車両事故等に遭われた場合

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。出来るだけ早く撮影を停止し、本機から microSD/SDHC カードを取り出して安全な場所に保管されることをお勧めします。

※パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

Windows Vista/7/8 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
AVI (Motion JPEG) 形式に対応した再生ソフト (再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告



■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



■ケースは絶対にあけないでください
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



■内部に異物を入れない
内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



■異常があるときはすぐ使用をやめる
発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

⚠ 注意



■ 衝撃や強い振動を加えない
使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■ 使用温度/湿度範囲内でご使用する
本機の温度/湿度保証範囲 (P.21) 以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■ 高温時の取り扱いに注意する
本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■ お手入れの際、電源プラグを抜く
お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



機能上の制約



■ 日本国内で使用する
本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■ 取り付け場所を十分に考慮する
本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に 1/5 以内の場所に限ります。装着後運転の邪魔にならないか、バックミラーの操作の邪魔にならないか等十分に確認してから使用してください。

■ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など

3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■ 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

本機の特長

■ 小型軽量

フロントウィンドウに取り付けても邪魔になりにくい小型軽量設計。

■ カラー液晶モニター搭載

2.0 型液晶モニターを搭載しており、録画中の画像や記録した映像を直ぐに再生が可能です。

■ フロントガラスに簡単に取り付け可能

取付けステーは両面テープタイプ。
小型で邪魔になりません。

■ データー記録用バックアップ電池内蔵

衝撃や事故等によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録画中のファイルを閉じて保存します。

■ 音声記録も可能

モノラルマイクロホンを内蔵しております。映像に加え、音声も記録できます。音声録音は ON/OFF 設定が可能です。

■ DC12V/24V 対応

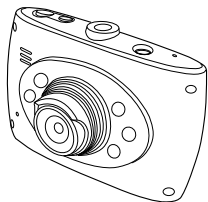
DC12V/24V 対応、乗用車だけでなくトラック等 24V 車にも搭載可能です。

■ 赤外線 LED 搭載

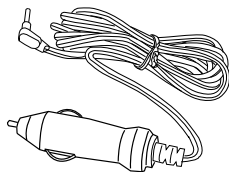
不可視光タイプの赤外線 LED を搭載。車内の夜間撮影も可能です。
(照射距離 約 2m 程度)

同梱品を確かめる

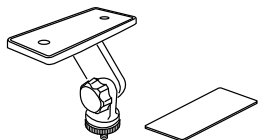
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



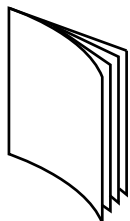
本体
(1台)



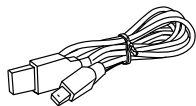
カー電源コード<約 3m >
(1本)



取付けステー (1個)
ステー固定用両面テープ



取扱説明書<本冊子>
保証書付 (1冊)

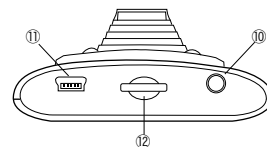
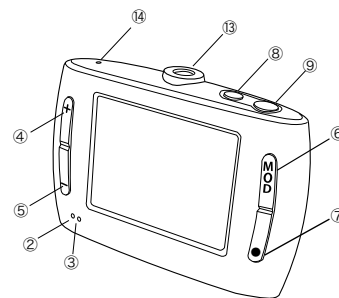
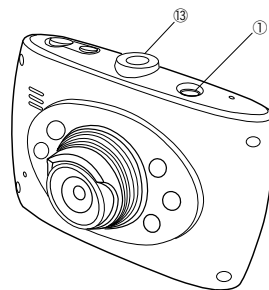


USB 接続ケーブル
(1本)



2GB microSD カード
(1枚)

各部の名称

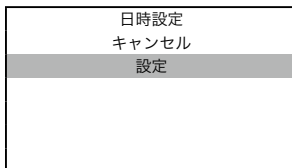
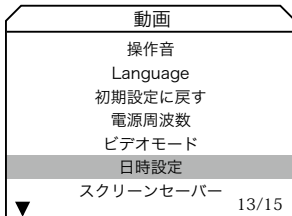
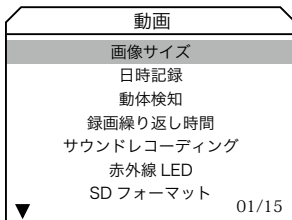


- ① 電源ジャック
電源入力は DC12V/24V です。
必ず付属のカー電源コードを接続してください。
- ② 録画 LED (橙)
録画中：ゆっくりと点滅
エラー時：点灯
- ③ 電源 LED (青)
通電中点灯
- ④ +キー
設定内容の選択をします。画像のズームイン。
- ⑤ -キー
設定内容の選択をします。画像のズームアウト。
- ⑥ MODE(MOD) キー
動画 / 静止画 / 再生モードを切り替え、及び各種設定の決定を行います。
- ⑦ ● キー
設定画面の表示をします。設定選択画面では「戻る」として動作します。
- ⑧ 電源キー
※本機は車のエンジンをかけると自動的に ON になります。
- ⑨ 記録 / 確定 (□) キー
録画の停止 / 開始及び再生開始します。
- ⑩ AV 出力端子
- ⑪ USB 端子
USB ケーブルにてパソコンと接続することで、SD/SDHC カードリーダーとして動作します。
- ⑫ microSD/SDHC カード挿入部
microSD/SDHC カードを挿入します。
- ⑬ 取付けステー装着部
- ⑭ リセットホール

準備する

電源を入れて日時を合わせる


日付を合わせる前に microSD/SDHC カードを抜いておきます。カー電源コードに電源をつなぎ電源をいれます。




① ●を押して動画メニューを表示させます。

② +を3回押して"日時設定"に合わせて●を押します。

③ 設定を選んで●ボタンで設定画面に移ります。

④ YYYYY/MM/DD から  で項目を移動させ、年を+で合わせたら、●で項目を移動させます。

⑤ 月を+で合わせたら、 で項目を移動させます。

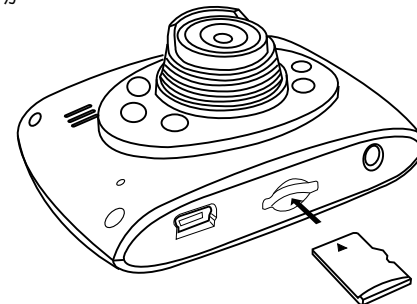
⑥ 同様に日・時刻、表示形式を選択し、最後に●を押します。

その他の項目は推奨値に設定してあります。

設定を変更する場合には「便利な機能を使う」を参照して変更してください。

メディアを準備する

microSD/SDHC カードのラベル面をレンズ側にして本体のカード装着部に“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



△注意

■ microSD/SDHC カードの挿入方向を間違えた状態で無理に押し込まないでください。

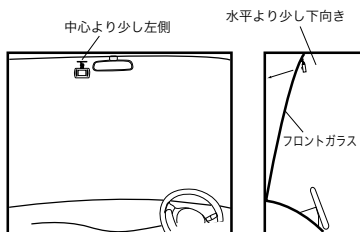
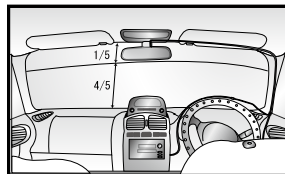
準備する

車へ取り付ける

取り付け上のご注意

- 車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。
- 道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。
- 取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に1/5以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けてください。
- レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるように取り付けください。
- 点検シールや検査標章などと重ならないようにしてください。
- 両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日はデフロスター（曇り止め）等で湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープなどで仮止めをしてから貼ることをおすすめします。
- 貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには24時間程度必要です。特に気温が高いときや、低いときはガラス面に取り付けステーのみ先に取り付け、24時間経過後本体をとりつけてください。
- 接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。

- あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。
- ルームミラーの操作に邪魔にならない位置に取り付けてください。



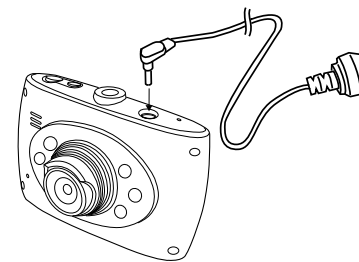
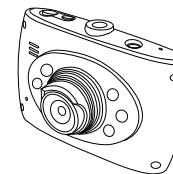
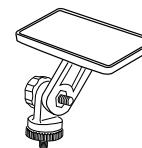
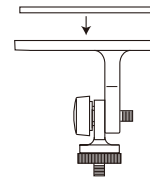
<トラックの場合の取り付け参考例>

- ドライブレコーダーとして使用する場合は、前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。

△注意

カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

1. 本体の取り付けステーに付属の両面テープを貼り付けます。(取り付けステーのくぼみに合わせて貼ってください)
2. 本体の取り付けステー装着部にステーを取り付けます。
3. 車両の中央部から助手席側の運転に邪魔にならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けて取り付けます。
4. 本体固定ナット、角度調整ねじで本体をしっかりと固定します。
5. 「付属のカー電源コードのプラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
6. カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。



△注意

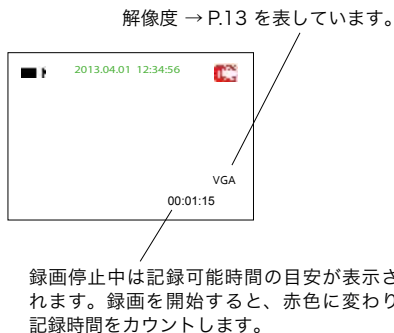
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

動画を撮影する

本機に外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が始まります。(記録が始まるまでに少し時間が掛かります。)

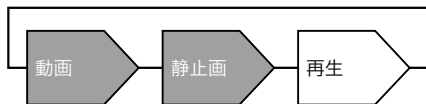
録画が始まると、画面右下の時計カウンターが赤色になって録画を開始します。また、本体の橙 LED がゆっくりと点滅を開始します。

録画を止める場合は、記録 / 確定キーを押します。



本機で撮影した映像・動画を見る

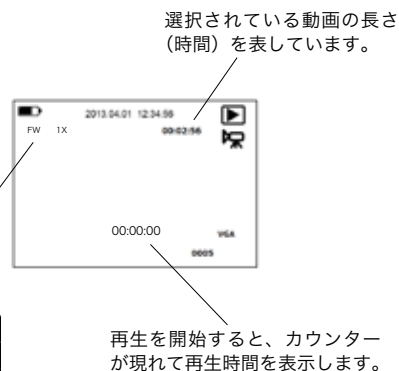
動画記録中の場合は、記録 / 確定キーを押して動画記録を停止します。MOD キーを押して再生モードにします。



再生したい映像を "+ "" - " で選択し、記録 / 確定キーを押すと再生が始まります。

再生を停止するときは、記録 / 確定キーを押すと再生画面が停止します。

(再生停止状態でもう一度記録 / 確定キーを押すと再び再生を始めます。)



FW	順方向再生を表しています
BW	逆方向再生を表しています
1X	倍速を表しています

再生を開始すると、カウンターが現れて再生時間を表示します。

MOD を押すと 2、4、8 倍速で再生します。

+ を押すと逆方向に再生します。

- を押すと順方向に再生します。

再生一時停止中に MOD を押すと 再生映像選択画面に戻ります。

再生映像選択画面で ● を押すと再生メニューが表示されます。

再生メニューでは、記録ファイルの削除や保護・ファイルのサムネイル表示が選択できます。

また再生音量の調節が可能です。

ボタン	動作	機能
UP キー	ファイル選択時	前のファイルを表示
	ファイル再生時	逆方向再生
DOWN キー	ファイル選択時	次のファイルを表示
	ファイル再生時	順方向再生
MOD キー	ファイル選択時	モード変更
	ファイル再生時	再生の停止
● キー	ファイル選択時	再生設定メニュー表示
	ファイル再生時	再生倍速切り替え
⏪	ファイル選択時	再生
	ファイル再生時	一時停止

便利な機能を使う

各種設定をする

各種設定を行う場合、録画を一旦中断してください。

もっと長時間録画したい

動画・MENU > 解像度

録画する画像の解像度を設定します。解像度をあげると録画時間が短くなり、さげると長くなります。

QVGA (320×240)	長時間
VGA (640×480)	バランス (初期設定)

日付、時刻を記録する

動画・MENU > 日時記録

映像内に日付や時刻を同時に記録することができます。

ON	日時を記録する (初期設定)
OFF	日時を記録しない

動きを検出して録画を開始する

動画・MENU > 動体検知

動体検知機能を ON に設定すると、画像の中に動くものが検出された場合に記録を開始します。動作が検出されなくなると自動的に録画が停止します。

OFF	動体検知機能を使わない (初期設定)
ON	動体検知機能を使う

※動体検知機能はカメラに写っている画像の中の動き（輝度の変化）を検出します。動くものがあつた時に自動的に電源が ON になるものではありません。また、遠くのものなど画面に占める割合が少ない場合や動きが連続しない場合などには反応できない場合があります。

ります。ドライブレコーダーとして使用する場合は動体検知機能は必ず OFF にて使用してください。

録画繰り返し時間を設定する

ビデオ・MENU > 録画繰り返し時間

一つの録画ファイルの時間を設定します。

MicroSD/SDHC カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

3分	(初期設定)
5分	
OFF	上書きなし

オフを選択すると、25分ごとのファイルを SD カードいっぱいになるまで記録します。

映像と同時に周囲の音を録音

動画・MENU > サウンドレコーディング

サウンドレコーディング機能で、映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうかが選択できます。

ON	音声を記録する (初期設定)
OFF	音声を記録しない

赤外線照射を設定

動画・MENU > 赤外線 LED

赤外線 LED の設定をします。Auto に設定すると画像が暗くなったときに赤外線 LED を点灯します。

OFF	赤外線 LED を照射しない
Auto	暗くなると自動的に赤外線 を照射する (初期設定)

フロントウィンドウが立っているトラックなどの場合、赤外線 LED が映り込むことがあります。不可視光線のため人間の目には見えません。照射距離は 1-2 m です。

SD/SDHC カードを初期化する

動画・MENU > SD フォーマット

MicroSD/SDHC カードの初期化を行います。MicroSD/SDHC カードを初期化すると、記録したデータ（保護ファイルを含みます）は全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいて下さい。

操作音を ON/OFF する

動画・MENU > 操作音

ボタンを操作した時に鳴る操作音を ON/OFF を設定します。

ON	操作音を鳴らす (初期設定)
OFF	操作音を鳴らさない

言語を選択

動画・MENU > Language

メニューや警告などの表示言語を選択出来ます。

選択可能な言語は日本語（初期設定）・

英語・フランス語・スペイン語・中国語（繁体字/簡体字）・ロシア語・インドネシア語です。

設定を工場出荷状態に戻す

動画・MENU > デフォルト設定に戻す

本機の設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「実行」を選択して下さい。

(日時の設定は初期化されません)

蛍光灯のチラツキを抑える

動画・MENU > 電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では 50Hz、西日本では 60Hz を選択します。

50Hz	東日本地域 (初期設定)
60Hz	西日本地域

映像モードを切り替える

動画・MENU > TV モード

映像を AV 出力端子から出力する場合の方式（NTSC/PAL）を選択出来ます。

日本国内では NTSC 方式を選択して下さい。

NTSC	(初期設定)
PAL	

日付と時間を設定する

動画・MENU > 日時設定

本機の時計を合わせます。設定方法は簡単マニュアルをご覧ください。

便利な機能を使う

操作時以外は消灯する

動画・MENU > スクリーンセーバー

操作をしないときは画面のバックライトを消灯して、運転の邪魔にならないようにします。

ON	30秒後にバックライトを消灯します
OFF	消灯しません (初期設定)

ソフトウェアのバージョンを確認

動画・MENU > ソフトウェアバージョン

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

静止画の解像度を設定する

静止画・MENU > 解像度

静止画の解像度は次の中から選択できます。

1.3M	1280x960 (初期設定)
VGA	640x480

静止画に日時を記録する

静止画・MENU > 日時記録

静止画を記録するときに日時を同時に記録することができます。

ON	日時を記録する (初期設定)
OFF	日時を記録しません

静止画を連写する

静止画・MENU > 連写撮影

一度のシャッター操作で3枚の静止画を撮影できます。

ON	連写 (3コマ) 撮影
OFF	通常 (1コマ) 撮影 (初期設定)

記録済みファイルを削除する

再生・MENU > 削除

記録された映像・画像ファイルは古いものから自動的に消され(上書き)ますが、手動で特定のファイルを削除することができます。

このファイル	現在のファイルが削除されます
全て	カードに記録された全てのファイルが削除されます
選択画像	削除するファイルをサムネイルで選択して削除します

記録済みの画像をスライドショーで見る

再生・MENU > スライドショー

各ファイルを設定した秒数のスライドショーで表示します。動画の場合は先頭の映像を静止画で表示します。目的の映像が表示されたら●キーを押すとスライドショーを停止します。

記録済みファイルを保護する

再生・MENU > 保護

記録された映像・画像ファイルは古いものから自動的に消され(上書き)ますが、手動で特定のファイルを保護することができます。保護されたファイルには鍵マークが表示されます。

このファイル	現在のファイルが保護されます
全て	カードに記録された全てのファイルを保護します
選択画像	保護するファイルをサムネイルで選択して保護します

※ファイルを保護しても microSD/SDHC カードをフォーマットすると消去されます。ご注意ください。

記録済みの画像を一覧で見る

再生・MENU > サムネイル

サムネイル表示にすると、過去に記録した画像が1画面に小さい画像で9枚見ることができます。動画の場合には動画のマークが表示されます。

サムネイル表示から表示・再生したいファイルを選んで表示・再生が可能です。

映像再生時の音量を設定

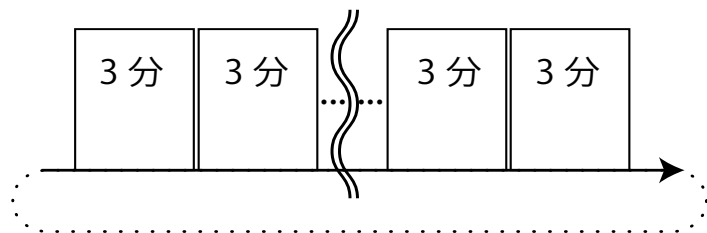
再生・MENU > ボリューム

記録された映像を再生するときの音量を8段階で設定できます。

音量値	1 (最小) ~ 8 (最大)
-----	-----------------

本機の記録方法

本機は常時記録方式です。P.13 の録画繰り返し時間で設定した時間ごとに SD カードの容量まで記録を続けます。一杯になると古いファイルから順に上書きされていきます。衝撃などでファイルを保存する機能はありませんので、事故にあわれた際には録画を停止し、microSD/SDHC カードを大切に保管してください。

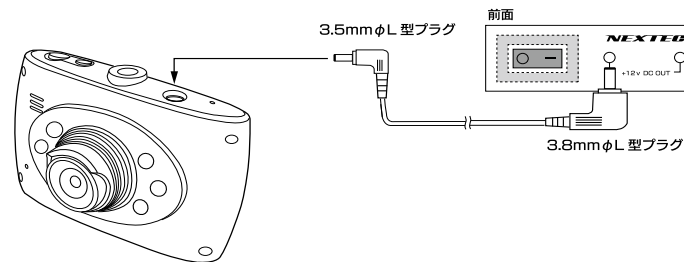
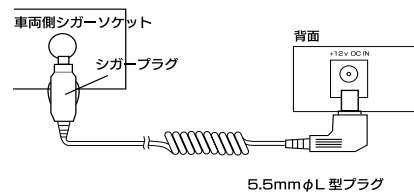


各種アクセサリと接続する

BP-1/2 と接続する

別売りのマルチ・パワーボックス BP-1/2 を使用することで、エンジンを切った状態で本機を防犯カメラとして使用できます。

- 1 BP-1/2 正面の「+12V/+5V 出力電圧 ON/OFF スイッチ」を OFF にします。
- 2 BP-1/2 付属のシガープラグコードの 5.5mm φ L 型プラグを BP-1/2 の背面「+12V DC IN」端子へ差し込みます。
- 3 シガープラグコードを車のシガーソケットへしっかり差し込みます。
- 4 BP-1/2 付属の接続ケーブル (3.5mm φ L 型 -3.8mm φ L 型) の 3.8mm φ L 型プラグを BP-1/2 の 12V 出力端子に差し込みます。
- 5 もう一方の 3.5mm φ L 型プラグを本機の電源ジャックに差し込みます。
- 6 BP-1/2 の正面の「+12V/+5V 出力電圧 ON/OFF スイッチ」を ON にします。



故障かな？と思ったら

電源が入らない

- カー電源コードを DCIN ジャックにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを DCIN ジャックにしっかり接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れていませんか？
⇒新しいヒューズと交換してください。

映像が記録できない

- microSD/SDHC カードが挿入されていない。
⇒カードを本体に挿入してください。
- microSD/SDHC カードに異常があると映像記録ができなくなります。
⇒その場合は microSD/SDHC カードをフォーマットしてから本体に挿入してください。
- 保護したファイルで microSD/SDHC カードがいっぱいになってませんか？
⇒保護されたファイルを削除してください。
→ P.16 記録済みファイルを保護する
- microSD/SDHC の寿命。
⇒ microSD/SDHC カードは消耗品です。
→交換してください。

映像が細切れで記録されている

- 動体検知が ON になっていませんか？
⇒動体検知を OFF にしてください。
→ P.13 動体検知

動画再生で映像が飛んだり、カクカクする

- microSD/SDHC のスピードが足りていない。
⇒ P.13 解像度の設定を下げるか microSD/SDHC カードを交換してください。

ファイルとファイルの間に記録できない時間がある

- ファイルのクローズや先頭のファイルの検索や消去を行うため時間が掛かります。

冬期電源を入れた直後画面が暗い

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

画面にドット欠損(輝点・滅点)がある

- 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

時計が初期値に戻ってしまう

- 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態（青色 LED が点灯している状態）でしばらく充電してください。

操作を受け付けない

- microSD/SDHC カードが壊れている可能性があります。
⇒ microSD/SDHC カードを抜いて動作をする場合には、microSD/SDHC カードが壊れている可能性があります。microSD/SDHC メーカー様へお問い合わせください。
- 内部コンピュータの異常
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

■イメージセンサー	CMOS 約 30 万画素
■ビデオサイズ	640×480 / 320×240
■フレームレート	約 30 fps
■言語	日本語／英語
■ビデオファイル形式	AVI-Motion JPEG
■音声	モノラル
■温湿度条件	動作時：温度 0°Cから 60°C、湿度 20% から 80% (ただし結露しないこと、および 35°C 以上における湿度は 65% 以下) 保存時：温度 -30°Cから 85°C (ただし結露しないこと)
■付属品	取付けステーキット ×1 USB 接続ケーブル ×1 カー電源コード ×1 取扱説明書 ×1 2GB microSD カード ×1

※商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご購入後 6ヶ月以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

修理にお出しいただくときには、問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現についてお判りになる範囲で、できるだけ詳しくお書きください。また必要なファイルは、あらかじめお客様にてバックアップを必ずされるよう、お願いいたします。お預かりしたデータの保証はいかなる場合もできません。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

本製品に付属の microSD/SDHC カードは本機で使用の場合に限り、本体の保証に準じ保証します。

microSD/SDHC カードの故障と思われる場合には、まずはパソコンで SD アソシエーションから配布されている SD フォーマッタを使用してフォーマットしてください。フォーマットができない場合などは下記の住所に不具合の現象と本機の保証書のコピー（必ず保証期間のわかるもの）と microSD/SDHC カードを添付してお送りください。

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町 1-17-5 階
株式会社磁気研究所 サポートセンター
TEL：03-3253-5823 土日・祝日を除く 【10:30～12:00 13:30～15:30】
Mail：supoport@mag-labo.com



4-223-001

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0035 東京都町田市忠生 4-11-8

TEL 042-793-7746

URL <http://www.frc-net.co.jp/>

F.R.C. CO., LTD.